

※ 緑文字は職員へのアンケートを実施して成果を検証するものです。同様に、青文字は児童生徒へのアンケートで、赤文字は保護者へのアンケートで成果を検証します。

平成27年度 西都市立三納小中学校自己評価書と学校評議員による学校評価

【評価基準】 4～期待以上 3～ほぼ期待どおり 2～やや期待を下回る 1～不十分

領域	評価項目	区分	評価指標または数値目標	結 果	学校の自己評価と改善策	自己評価		学校関係者評価委員のコメント	評価
						指標別	総合		
II	① 基本とする生活指導の徹底	共	a あいさつは、「いつでも・どこでも・誰にでも・心を込めて」を意識させ、あいさつができる児童生徒を90%以上にする。 b 児童会や生徒会による自主的なあいさつ運動を推進する。 c 家庭で、「おはよう」「おやすみなさい」などのあいさつを励行する。 d 名前を呼ばれたり、同意を求められたりした際の返事は「はいっ」と相手に伝わるようにしっかりさせる。 e 整理整頓に努めさせる。 f 清掃班長を中心に主体的な清掃態度を育成する。	a 児童生徒とも90%を超えているが、まだ声が小さい。 b 小中別々の活動だった。 c 90%前後の家庭で実践できている。 d 小中学校ともに半数以上が2であり、あまりできていない。 e 個人差がある。 f おおむね良いが、清掃場所によって取組に差がある。	a 声が小さい。個人差があるが、できるようになってきた。 b 小中それぞれで、あいさつ運動やあいさつチェックに取り組んだが、合同では行っていない。共通の取組も考えていきたい。 c 学級通信や学級懇談で啓発する。 d 各場面（授業や集会）でやり直しをさせ、定着を図る。 e 全職員が、気が付くたびに指導する。 f 継続して取り組む。	2.71	2.71	○ 地域の見守り隊で、子どもたちのあいさつの様子を見ていると、こちらから言えば言うが、子どもたちの方からはなかなか言わない。中学生になると、恥ずかしさもあるのではないだろうか。全体的に、少し元気がないように感じる。	2.5
			a 人権学習をテーマとした授業を実践する。 b 生徒指導の三機能を活かした授業を実践し、児童生徒の自己肯定感を高める。 c いじめや悩みのアンケート及び教育相談を実施し、全職員で共通理解し、対応する。 d 日常生活における道徳教育を充実させる。 e 信頼関係を基盤とした学級経営を充実させる。 f 他者を思いやる心のこもった言葉遣いをさせる。 g 学級園の草花を育てることを通して、優しさや思いやるの心、命あるものを大切にすることを育てる。 h 保護者や地域への特別支援教育の啓発を図る。	a 実施することができた。 b 児童生徒とも90%前後が3以上であり、自己肯定感が高いと考えられる。 c 中学校は毎月実施はできなかったが、アセスを実施することができた。 d 全職員共通理解し努力した。 e 各学級担任が全力で取り組んでいる。 f 80%以上が3以上であり、だいたいできている。 g 協力して草抜きや苗植えに取り組んだ。 h 学級通信等でふれる程度だった。	a 継続して取り組む。 bf 校内研究の成果が現れている。しかし、心配な児童・生徒もいる。小中学校ともアセスを実施し、教育相談に活用した。 b 主題研究と関連づけながら、継続して指導する。 c 講師等を招いて、ケース会議のやり方についての研修も必要。アセスの結果を教育相談に生かす。 df くん、さん付けなどに心がける。 e 学級担任まかせにせず、みんなで協力していく。 g 継続して取り組む。 h PTA総会や全校懇談、通信等、機会をとらえ啓発する。	2.82	2.88	○ 小規模校のよさもあるが、気になるのは子どもたちの人間関係のことである。教育相談の回数や子どもたちが先生たちに相談する機会はありますか。 →【学校側の回答】 教育相談については、小学校ではほとんど毎月実施。アセス等を用いて、教師自身が客観的に見られるようにしている。中学校では、学期1回実施。1、3回目は学級担任、2回目は生徒の希望により、担任以外とも相談できるようにしている。また、養護教諭に休み時間等子どもたちから相談することも多いので、学級担任と連携して、指導している。	3
			a 学校のきまりや校則、社会的ルールやマナー、交通ルール等を守る指導をする。 b 生活指導週間における廊下歩行に関する指導を徹底し、「廊下歩行のきまりを守っている」児童を90%以上にする。 c 自転車通学に関するルールを遵守させる。	a 年度始めに集会や交通安全教室を行った。また、交通安全の授業や防犯教室を実施した。 b 86%はできているとしているが、徹底はしていない。 c 違反は少なかったが、ゼロではなかった。	a 機会あるごとに指導していく。 b ラインテープを教室の出入り口と、廊下の曲がり角に付ける。廊下には、止まれ標識も付け、安全教育にも生かしたい。 c 違反切符の活用も含め、機会あるごとに指導していく。	2.88	2.76	○ 中学生の自転車は、どちらを通るように指導しているのか。 →【学校側の回答】 今年度の道路交通法の改正に従って、指導している。 ○ 登下校の自転車の乗り方はいいが、休日になると並列で走っている姿も見られるので、今後も指導してほしい。	3.2